

CT検査(各種)のご案内

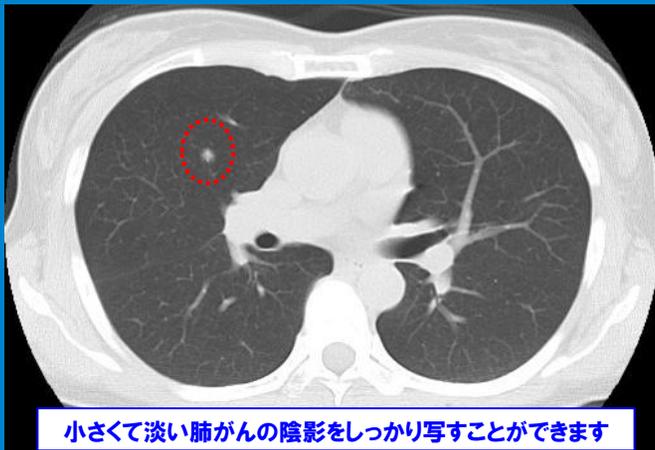
☆ 胸部CT検査を受けて肺がんを早期発見しましょう ☆

肺がんは・・・

肺の入口や末梢部に発生する悪性腫瘍で、部位別にみた「**死亡数は1位**」です。この肺がんの死亡リスクを低下させるためには、「**早期発見・早期治療**」が必要不可欠です。

胸部CTの有用性

胸部を輪切り状に撮影し、下記画像のように観察できるため、他臓器や骨などの重なりが弱点となりやすい胸部X線検査に比べて、「**より小さくて淡い早期の肺がんを発見**」することができます。慢性閉塞性肺疾患(COPD)についても進行度合いを確認できます。当施設は被曝低減認定施設ですので、通常より1/2～1/3程度の低線量で撮影します。



小さくて淡い肺がんの陰影をしっかりと写すことができます
上記陰影は7mm程度の淡い肺がん陰影です

* 下記項目に該当する方はハイリスク群となります

- 喫煙指数(1日本数×年数)が400以上である
- 喫煙年数が20年以上である
- 胸部に気になる症状(せき・たん)があった
- 血縁者に肺がんの人がいる
- 同居者や同じ職場にヘビースモーカーがいる
- 粉じんや石綿を取り扱う業務に従事している



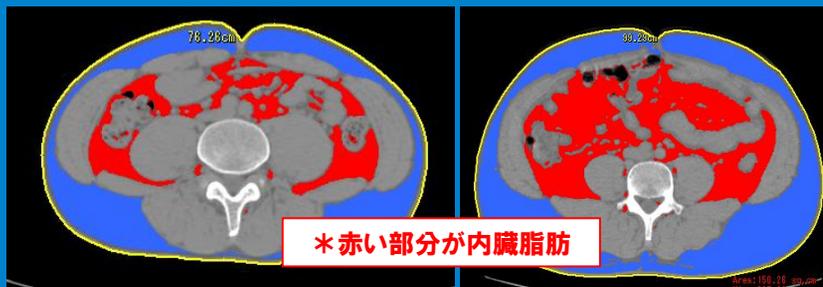
☆ 内臓脂肪計測CT検査で“メタボ”のリスクを調べましょう☆

メタボとは・・・

メタボリックシンドロームのことで、「**食べ過ぎ、飲みすぎ、運動不足、喫煙**」といった不健康な生活習慣により内臓脂肪が蓄積され、高血圧、脂質異常、高血糖を誘発した状態をいい、「**心筋梗塞や脳梗塞の原因**」となります。

内臓脂肪計測CT検査(FAT-CT)の概要

お臍付近の撮影画像を解析し、内臓脂肪面積を正確に計測します。



正常
(内臓脂肪面積:43.45cm²)

内臓脂肪型肥満
(内臓脂肪面積:150.26cm²)

下記項目に該当する方は
メタボリックシンドロームと診断されます

内臓脂肪面積が100cm²を超え、
さらに高血圧・脂質異常・高血糖のうち
2つ以上にあてはまる

☆ 頭部・腹部のCT検査☆

頭部CT検査

主に脳血管障害(脳梗塞など)、脳腫瘍、副鼻腔炎などの発見に有用です。高血圧症・糖尿病・脂質異常症・心房細動・喫煙・飲酒は脳血管障害のハイリスク群といわれています。

腹部CT検査

主に肝臓がん、胆道がん、膵臓がんなどの腹部臓器原発の悪性腫瘍や胆道結石、腎結石、大動脈等の石灰化、肝のう胞、腎のう胞、脂肪肝等の発見に有用です。